

小学校〈総合の学習の時間〉授業実践報告

世界の平和に願いをこめて

～世界の子どもたちの現状を理解し、学習したことを伝えよう～



ユニセフ学習会

東京都府中市立四谷小学校5年生の総合的な学習の時間の実践を、村上卓先生に報告していただきました。

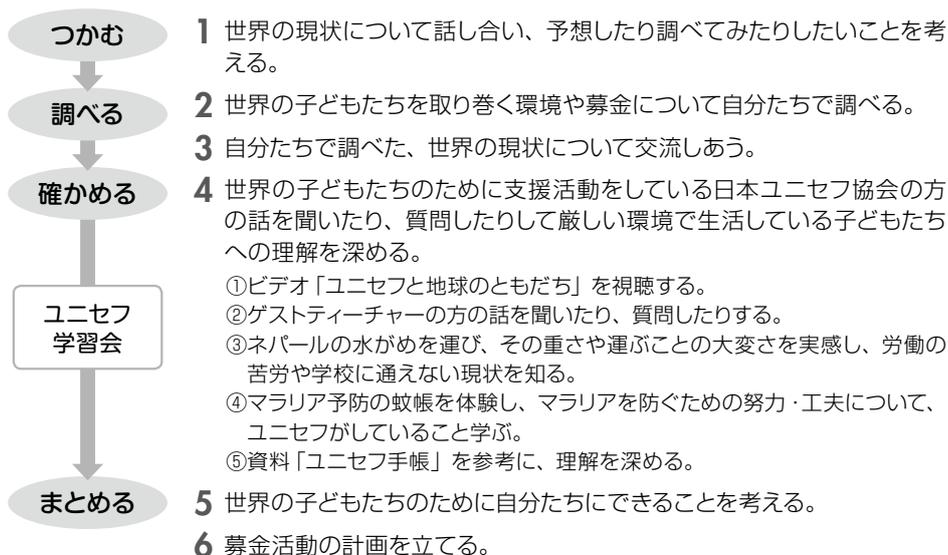
I 活動のねらい

本校では、これまでの研究を通して「子どもは自分が実現させたいことに会ったとき、自らが持つ力を発揮して、主体的に実現へ向かおうとする。」という子ども観を持っている。そして、「総合的な学習の時間」においては、教師は子どもたちの思いに添い、子どもたちと共に活動内容を決めて学習を展開している。

本学級では、「自分たちだけが満足する活動ではなく、いろいろ

な人たちとかかわりたい。」という子どもたちの思いをもとに話し合った結果、「誰かのために募金しよう」という活動を進めることにした。この学習を通して、同じ地球に生きる世界の子どもたちの生活や現状に目を向け、世界平和について考えたり、今後の自分の生き方について考えたりすることを願っている。

II 学習活動の流れ



ネパールの水がめ体験



マラリアを防ぐ蚊帳の体験

III 児童の感想

ビデオを見て、川の水を飲んでいたり、戦争に行く子どもがいたりしておどろいた。

平和ではない外国のことがよくわかった。ユニセフではそのための取り組みをしていることがよくわかった。

3秒に一人死んでいることにびっくりした。私もエコキャップなどで協力したいと思った。

日本とちがいで、学校に行くことができないで、家の手伝いをするなんてえらいなと思いました。

IV 成果と課題

ユニセフ学習会では、水がめ運びやマラリア予防の蚊帳の体験を取り入れることで、厳しい環境で生活している子どもたちの思いにふれることができた。また、自分たちが生活している日本がいか

かに恵まれているかを考えることができた。さらに、ユニセフの活動を通して、世界には平和を願い、人道支援をしている人たちがたくさんいることがわかった。学習をもとにして、児童自らが世界平和に対する自分なりの考えをもち、今後の生き方に対する考えが深まることを期待している。